

史跡めぐり “コシガヤホシクサ”を見に行こう

2010年10月13日



「大勢の方のご参加 ありがとうございます」宮川会長のあいさつ

史跡めぐり参加のみなさんはこちらで一す



入場と同時に園内のくわしい説明を聞く「ここは植物多様性を知る・守る・伝える植物園です」筑波研究学園都市内にある



野生絶滅水草のコシガヤホシクサは園中央の砂沼で栽培されている 広大な敷地に樹木を含め約 3000 種類の植物がある



「越谷の干し草」でなく白い花が浮いた星のよう見えるところから名づけられた



昭和 12 年 (1937) に元荒川べりで発見され、翌年コシガヤホシクサと命名された一年草。9 月の NHK ニュースで「野生で絶滅のコシガヤホシクサが見ごろを迎えている」と放送があり、早速、史跡めぐり計画が組まれた。



大きなパラボラアンテナに思わずシャッターを切る 目指すは国土地理院



コシガヤホシクサの野生復帰をめざし栽培施設での保全



帰りのバスを待つ、駅までの本数が少なく会話がはずむ 33 名が参加された



「地図と測量の科学館」ロビーの 3D 日本地図